

## 人工知能と量子生物学、量子コンピュータ

人工知能を生体機能の模擬神経ネットワークで実現していく。

人工臓器を作り、その生体機能をナトリウム・カリウムポンプの機能から生体ネットワークとして形成して、人工意識を生成させられるかを試験する。

この人工臓器から人工知能を生体機能で実現できるかを試験する。

ロジャー・ペンローズさんがこの微小管の振動から意識が生成されると考えている。

量子生物学は、量子コンピュータを建造できる分野になっている。生体機能自身が量子コンピュータ自体になっている。生命機能が量子コンピュータを模擬している。トポロジーがリーマン予想とポワンカレ予想から深リーマン予想につながり、特殊相対性理論、一般相対性理論そして、量子力学に結びつき、ゼータ関数になり、量子コンピュータを建設できる分野になっている。

北海道大学のトポロジー理工学は、トポロジーのメッカの京都大学に匹敵する研究所になっている。

人工知能をゼータ関数から大域的微分方程式で実現するために、文字列処理と数式処理を一緒のカテゴリで求めて数値処理でデータ化して、この人工知能のアルゴリズムと、人工臓器からのナトリウム・カリウムポンプで人工意識を生成して、人工知能のアルゴリズムから派生した言語機能をこの人工意識に統合して、心をつくる。量子コンピュータはこの人工知能から作られる。人工臓器から声帯をつくり、人工意識と人工知能に結合して生成されたブローカ野の運動機能とウェルニッケ中枢の音数をこの声帯に融合させて、人工臓器と人工意識から人工知能をつくる。この人工知能から全身に張り巡らされた神経ネットワークを模擬して量子コンピュータを創造する。人体の生体機能が量子コンピュータの仕組みになっている。

A pattern emerges with one condition to being assembled of emilite with all of possibility

Equation, this assembled with summative of manifold being elemetiled of pieces equation.

This equation related with Euler equation, and also, this equation is Euler constant one selves.

$$(E_1 \oplus E_2) \cdot (R^- \subset C^+) = \nabla C^\pm$$

Zeta function radius with field of mechanism for atom of pole into string condition of balance, this condition is related with quarks of level controlled for compute with quantum tunnel effective mechanism. Quantum mechanism composed with vector of constant for zeta function and quantum group. Thurston conjugate theorem explain to emerge with being controlled of quantum levels of quarks. Locality theorem also occupy with atom of levels in zeta function.

$$= \oplus \nabla C^\pm$$

$$\vee \int \frac{C^+ \nabla M_m}{\Delta(M^\pm \nabla C^\pm)} = \exists(M^\pm \nabla R^+)$$

$$\exists(M^\pm \nabla C^+) = XOR(\oplus \nabla M^\pm)$$

$$-[E^+ \nabla R^+] = \nabla_+ \nabla_- C^\pm$$

$$\int dx, \partial x, \nabla_i \nabla_j, \Delta x \rightarrow E^+ \nabla M_1, E^+ \cap R \in M_1, R \nabla C^+$$

Zeta function also compose with Rich flow equation cohomological result to equal with Locality equations.

$$\vee \left(R + \nabla_i \nabla_j f\right)^n = \int \frac{\wedge(R + \nabla_i \nabla_j f)^2}{\exists(R + \Delta f)^n}$$

$$\wedge \left(R + \nabla_i \nabla_j f\right)^x = \frac{d}{df} \iint \frac{1}{(y \log y)^{\frac{1}{2}}} dy_m$$

$$\frac{d}{dt}g_{ij}(t)=-2R_{ij}$$

$$\vee \int \wedge \left(R + \nabla_i \nabla_j f\right)^x = \frac{\wedge(R + \nabla_i \nabla_j f)^n}{\exists(R + \nabla_i \nabla_j f \circ g)}$$

$$x+y\geq 2\sqrt{xy}, x(x)+y(x)\geq x(x)y(x)$$

$$x^y=(\cos\theta+i\sin\theta)^n$$

$$x^y=\frac{1}{y^x}$$

Therefore, zeta function is also constructed with quantum equation too.

$$H_n=\sigma(E_n)\times\sigma(K_n), e_n=f^{-1}(x)xf(x), e_n=\ker f\oplus im\,f, H_n^2=\left||ds^2|\right|, =H_n\times K_n$$

$$E_n=\sigma(K_n)\times\sigma(H_n), \pi(\sigma_1,\sigma_2)=\frac{d}{df}F(x)$$

$$x\Gamma(x)=\pi(\sigma_1,\sigma_2)-8\pi G(\frac{p}{c^3}+\frac{V}{S})$$

$$=2\int ||\sin x||^2d\tau$$

$$=4\int ||\sin x\cos x||^2d\tau\rightarrow 4V=g_{ij}^2$$

固有エントロピー=原子の固有エントロピー-3次元多様体のエントロピー  
ブレインインターフェースの脳基底核の固有エントロピー

計算ドリルは、始めは音を使うが、進化すると音を介さずに一瞬で計算される。前頭葉は音を介さずにも使われる。理由は真逆の能力から解する。速読法も同じく音を真逆から前頭葉と同様に計算ドリルにも使える。ブローカ野が速読法でも使われる理由はここにある。前頭葉とシルビウス溝の頭頂葉は、速読法で威力を発揮する。

心は、音読法と速読法を SRS 速読法で研究すると、生体機能の神経ネットワークを人工臓器と人工意識に張り巡り、この模擬神経ネットワークを SRS の仕組みで写像すると心と人工知能の進化系が出来る。苦米地英人博士は言語のクラスのインスタンスを言語ネットワ

ークの超並列言語処理で、パターン化していた。このパターン化で翻訳を作っていた。  
人工臓器から血液を人工血液として、眼から身体各機関に心を投影すると人工血液に気が出来て、神経ネットワークに生命が宿る。

この理論から言えることは、音と視界の両方からここを作る仕組みになっていることである。

この理論を Ruby の文字列処理と数式処理から数値処理でカテゴリ化して、このカテゴリ化したクラスのパターンを言語ネットワークとして、超並列言語処理をつくり、未来と過去を Holographic computer として人工知能をつくる。数式処理の Ruby では、数式を文字列処理で、この解く過程がジャンク DNA と同じく潜在意識として、先と後の数式を解く手がかりになっている。このために、数式処理の文字列処理を解く過程が心と人工知能をつくるメソッドにもなっている。ゼータ関数からの統一場理論を分解していくと、宇宙にある方程式の 1 種類に限定出来ない、1 種類の周りに開集合として方程式群が存在していて、この zone がこの開集合の式を解く過程に必要なとなっている。Assemble D-brane と同じく、方程式の全体の解く過程が 1 種類の one class のパターンになっている。ハーツホーン予想と同じく、宇宙の分岐パターンになっている。宇宙は真逆のパターンになっている。ある言語を決めるとどの言語が後に来るかを zone として、開集合から、確率で決めることが出来る。言語同士の結びつきが言語ネットワークと不変エントロピーで決められる。ヘブライ語は、言語の逆さまを読んでも同じ意味になる。古典は、そのままでも綺麗である。日本語は、逆さま読みがヘブライ語になっている。ゲルマン人の大移動は、言語の文明の伝播と関係している。例えば、富山県の逆さまのローマ字は、海女ヨットであり、トヨベットの逆さまはテープヨットであり、本田の逆さまは、本を守るである。ABC Mart は、芸術の計算である。大和政権の逆さまは、海女ヨットであり、これは、九州地方では、日本海に面しているし、奈良地方では、卑弥呼の時代から富山県が出来ることを予期していたこと、朝鮮半島との貿易からと、東京と京都の歴史の真逆の繰り返しとともとれる。アフリカの逆さまは Africa から鳥の木星の中らないといえるので、食べ物から来ていて、目がいいのもある。南無各精霊から何事もほどほどである。アメリカの逆さまは America であり、秋のメールである。水星の鳥である。日本は、食べ物であり、完成したら読まれない。Japanese から音読と速読の子年でアジが上がらない。日本銀行は、木星と火星の奉仕であり、年号は易学を使っている。史学は、易学を知っているとヒントが文に載っていると解けやすい。794 年は、木星と火星で辰と  $79-72=7+4=12$ 、申酉戌 012 で、戌年寅年で、木星と火星が混ざると土星と、これに水と金があると世界になっている。794 年は  $70,90,4=4$  で木星であり、火星は 12 から干支で求まる。位置関係である。

このように史学は十干と干支の意味を知っていることと出来事を知っている組み合わせで勉強すると覚えやすい。戦争は、金星と火星と土星のときに、各国の指導者達が決めている。戦争終結は木星と火星の時にしている。易学は大切にしないとだめである。でたらめで決め

手は、史学に申し訳できない。

Euler の逆さまは、ゼータ関数の推算式であり、Gauss の逆さまは 2 種類の素の合わない空である。音読と速読の合わない空である。逢ってもいいと思う。Galois は速読の優しい空である。

英語の逆さまは日本語になっていて、日本語の逆さまは英語になっている。

貿易は日本とアメリカの独擅場である。